

事務所使い

第25号 2018年 新春



TETSU'S
office

Family & Business Risk Specialists

ご契約者のみなさまへ

あけまして
おめでとうございます。

いつもごひいいきに賜り

誠にありがとうございます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

社員一同

平成30年 元旦



有限会社テツ・オフィス 社員一同

埼玉県坂戸市花影町30-1-5 キナステップビル TEL 049-284-5522 Fax 049-283-7640

30年経た今ではパソコンで計算しながら同時に申込書が書き、所定の申込書用紙もなく白紙へ印刷そして完成です。一部の商品は、タブレット画面にら




(笑) 次に、パソコンの別画面で計算した保険料とお客様の情報を入力し申込書を作成できる時代となり、クセ字問題は一気に解消しました。



振り返ると卓で基本料率から保険料を導き出し、手書きで申込書転記。そしてお手書きでただくという流れが当たり前でした。手作業のためミスもありト本筋も思い出の頃です。

しかし、一旦機械化の号令がかかるとエエー！？と驚くことが次々にやってきました。まず申込書用紙にOCR文字記入が始まりました。ひどいクセ字のため機械が読み取ってくれず女性社員に迷惑かけ通しの頃です。子どもの時、習字を行った振りして手を墨で汚して帰っていたのを反省しました。



らで
は」です。通信ができるドライ
ブレコードーダーなどのITを利用
した事故予防の仕組づくりのお話
もしも欠かせません。ですが、
こんな理屈を言つている間にも
人工知能（AI）は経験を積み重
ねて賢くなつているらしく、
（エー！？）近い将来一般的な
Q&Aは人工知能で答えること
が出来るようです。「アレク



思うに、毎日の定型化作業はいずれ機械化され、「人ならでは」の仕事をするのが代理店なのかもしれません。それは保険の知識だけではなく、周辺の法律・税務・労務・許認可・FP等々の知識と提案力を持つて「よくお話しを聞く」一課題を見つける」「解決方法を探る」「提案する」とことでしようか。各専門家との幅広い繋がりも「人ならでは」かもしれません。

ここまで書きながら、IT化が進むと「これなら代理店をやらない」と書いているような気がしてきました汗(ーー・。・)。次世代において定型化された業務はRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)導入でさらにはすむそうです。そのまま長いカナタに負けてしまったのですが。

た。事務所の膨大な申込書用紙が減り、棚もスッキリです。



本年も何卒よろしくお願ひ
いたします。



